

令和4年度教育委員会事務事業点検評価(令和3年度実施事務事業)評価表

		整理番号	31	担当部課	生涯学習部	社会教育課	
事務事業	524406 学校支援事業						
事業区分	事業区分	実施計画事業	施策体系	V-3	生涯学習の成果の活用		
区分	必要性	非常に高い	効率性	非常に高い			
	方向性	現行どおり	改善、効率化の内容				
対象	小中学生、地域住民						
事務事業目的	学校・家庭・地域が一体となって子どもの育成に取り組む体制づくりを進めることで、学校の活性化と市民の学習機会や学習成果を活かす機会を拡充し、家庭や地域の教育力の活性化を図ります。						
事務事業内容	学校支援ボランティアセンターによる学校支援の充実を図るとともに、学校応援団の組織の拡充を通じて、地域による学校支援を促進します。						
実施形態	一部委託						
成果指標	学校支援活動日数						
活動指標	(活動指標1) 学校支援ボランティアの派遣人数 (活動指標2) 学校応援団への参加者数 (活動指標3)						
目標達成状況			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	成果指標	予定	8,600	8,197	8,111	7,996	3,533
	単位：日	実績	8,197	8,111	7,996	3,533	4,019
	活動指標1	予定	350	400	450	319	319
	単位：人	実績	339	309	319	46	88
	活動指標2	予定	90,000	94,324	74,660	73,632	50,148
	単位：人	実績	94,324	74,660	73,632	50,148	52,403
	活動指標3	予定					
	単位：	実績					
	トータルコスト	予定	3,821	5,962	9,810	9,651	9,781
	(千円)	実績	3,896	5,920	9,533	9,565	9,549
見直し実績							
事務事業評価	内部要因 外部要因	地域とのつながりや、課外における子どもたちの教育の必要性が高まっている。学校教育に対する高い関心度を有した学校応援団やSSVCの協力体制、NPO法人との連携が充実している。					
	必要性	地域住民の学習成果の活用機会の拡充及び家庭・地域の教育力の向上を図るため、学校・家庭・地域が連携し、地域全体で学校教育を支援することの必要性は非常に高い。					
	効率性	学校支援に地域の教育力を活かすため、支援に関心を持つ市民と、支援が必要な学校をつなぐ仕組みを整えていることなど効率性は非常に高い。					
	方向性	学校支援ボランティアセンター及び学校応援団ともに、主体的に学校支援に取り組んでいくよう、引き続き、活動の促進を図っていく。					

令和4年度教育委員会事務事業点検評価(令和3年度実施事務事業)評価表

		整理番号	32	担当部課	生涯学習部	スポーツ振興課	
事務事業	51411 市民スポーツ促進事業						
事業区分	実施計画事業	施策体系	VI-1	市民のスポーツ活動の促進			
区分	必要性	非常に高い	効率性	高い			
	方向性	改善、効率化	改善、効率化の内容	強味を伸ばす			
対象	市民						
事務事業目的	スポーツに親しむことのできる場や機会の提供を通じて、市民のスポーツ活動の促進を図ります。						
事務事業内容	市民のライフスタイルやニーズに応じて、各種スポーツ教室や行事を充実させ、また、ニュースポーツやウォーキングなどの気軽に楽しめるスポーツの普及を図ります。						
実施形態	一部委託						
成果指標	スポーツ教室及び行事への参加者数(市直営事業)						
活動指標	(活動指標1) スポーツ教室数 (活動指標2) 行事開催数 (活動指標3)						
事務事業評価			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	成果指標	予定	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700
	単位:人	実績	3,906	4,537	4,194	380	1,083
	活動指標1	予定	18	16	17	18	18
	単位:回	実績	20	16	15	6	14
	活動指標2	予定	11	15	7	7	6
	単位:行事	実績	9	13	6	1	5
	活動指標3	予定					
	単位:	実績					
トータルコスト	予定	26,064	24,765	27,551	29,371	24,042	
(千円)	実績	26,166	23,121	25,804	20,353	20,142	
見直し実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった教室では、教室種目に関するワンポイントアドバイスを作成して送付し、次回の参加に繋がるような事務を加えた。ニーズが高い「バドミントン教室」を午前、夜間に開催時間を変えて2回実施することで、参加者のライフスタイルを考慮した教室運営に努めることができた。						
内部要因	(ニーズ) ライフスタイルやライフステージに応じて気軽に楽しめるスポーツの場の提供が求められている。 (強み) 子どもから高齢者までを対象としたスポーツ教室や事業が充実している。						
必要性	スポーツ教室やスポーツ行事の開催を通じて、市民の健康増進や生きがいづくり、地域コミュニティの促進を図っていくうえで、必要性が高い。						
効率性	スポーツ教室や行事の開催に当たっては、スポーツ推進委員等の活用を図り、事業運営の効率化を図っている。						
方向性	ライフスタイルやニーズに応じてスポーツ教室の種目の充実を図るとともに、より多くの人に参加しやすいように開催日時にも工夫を加え、さらには、スポーツ推進委員やレクリエーション協会とも連携して、気軽にできるニュースポーツを積極的に導入していく。						

令和4年度教育委員会事務事業点検評価(令和3年度実施事務事業)評価表

		整理番号	33	担当部課	生涯学習部	スポーツ振興課	
事務事業	514107 競技スポーツ振興事業						
事業区分	実施計画事業	施策体系	VI-2	競技スポーツの振興			
区分	必要性	非常に高い	効率性	高い			
	方向性	改善、効率化	改善、効率化の内容	強みを伸ばす			
対象	市民						
事務事業目的	競技団体のスポーツ活動を充実させるため、補助金を交付し、スポーツ団体の育成・支援を図ります。						
事務事業内容	スポーツ団体の活動を支援することにより、組織の充実を図るとともに、競技スポーツの振興と青少年のスポーツ活動の普及を図ります。						
実施形態	一部委託						
成果指標	スポーツイベントや講演会等の参加者数						
活動指標	(活動指標1) プロスポーツ選手や大学等とのスポーツイベントや講演会等の開催回数 (活動指標2) (活動指標3)						
目標達成状況			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	成果指標	予定	250	800	800	800	800
	単位：人	実績	324	832	657	78	725
	活動指標1	予定	3	3	5	5	8
	単位：回	実績	4	5	3	3	6
	活動指標2	予定					
	単位：	実績					
	活動指標3	予定					
	単位：	実績					
トータルコスト	予定	12,476	19,139	19,189	17,871	20,886	
(千円)	実績	12,701	18,789	18,583	17,554	19,580	
見直し実績	前年度中止となった体験型教室について、埼玉西武ライオンズ及びちふれASエルフェン埼玉によるスポーツ団体との連携協定事業として、「レオ・ライナと楽しく遊ぼう」・「ベースボールチャレンジ」、「エルフェンサッカー教室」を、感染症対策を講じながら実施した。						
事務事業評価	内部要因 外部要因	(ニーズ) 地域や学校と企業のスポーツチームやトップレベルのアスリート等をつなぐコーディネーターとしての役割が増加している。 (強み) 地域や近隣のスポーツチーム、企業、大学等との協定や連携による取り組みを実施している。					
	必要性	各種競技会の開催やトップアスリートを招へいするなどして、一流のスポーツ技術に接する機会を充実することにより、競技スポーツの関心を高めていくうえで必要性は高い。					
	効率性	補助金を交付し、スポーツ団体の育成・支援を図り、団体の事業と連携してトップアスリートとの交流の機会を市民に提供することができる。					
	方向性	引き続き、スポーツ団体の活動を支援し、競技スポーツの振興と青少年のスポーツ活動の普及を図っていく。					